森林・林業・木材産業グリーン成長総合対策のうち

林業イノベーション推進総合対策

【令和４年度予算概算決定額　889,459（893,308）千円】
【令和４年度予算概算決定額（デジタル庁計上）93,000（74,000）千円】
（令和３年度補正予算額　49,482,001千円の内数）

＜対策のポイント＞

林業イノベーション現場実装推進プログラムの実現のため、造林作業の自動化機械や木質系新素材等の**開発・実証**、スマート林業や森林資源デジタル管理の推進、早生樹・エリートツリー等の苗木の生産拡大に向けた採種穂園の整備、スマート林業に関する教育等の**開発技術の実装・環境整備**を行います。

＜事業目標＞

○　自動化等の機能を持った高性能林業機械等の実用化（８件［令和７年度まで］）
○　森林施業の効率化・高度な木材生産等を可能とする「スマート林業」や低コスト造林モデルの導入（全都道府県［令和６年度まで］）

＜事業の内容＞

１．技術開発方針の企画　45,000（48,620）千円
産学官のプラットフォームを設置し、異分野技術等の導入の取組を支援します。

２．戦略的技術開発・実証

①　戦略的技術開発・実証事業　141,776（130,209）千円
林業機械の自動化、木質系新素材等の戦略的案件の開発・実証を支援します。

②　森林情報オープン化推進対策　15,000（－）千円
森林資源情報等のオープン化に向けた最適手法の検討を実施します。

③　林野火災発生リスク評価対策　4,800（－）千円
林野火災発生危険度予測システムの構築と普及方策の検討を実施します。

３．開発技術の実装・環境整備

①　スマート林業構築推進事業　60,306（126,669）千円
ICT等先端技術を現場レベルで活用する実践的取組を支援します。

②　国有林林業イノベーション技術構築事業　10,793（69,686）千円
国有林の森林資源データに関する成長予測の精度向上や利活用を推進します。

③　森林資源デジタル管理推進対策　279,032（175,300）千円
レーザ計測等による森林資源・境界情報のデジタル化等を支援します。

④　早生樹等優良種苗生産推進対策　174,195（128,008）千円
早生樹母樹林の保全・整備やエリートツリー等の採種穂園の整備等を支援します。

⑤　先進的造林技術推進事業　53,700（98,546）千円
造林事業での低コスト技術やリモートセンシング技術の活用等を支援します。

⑥　木材生産高度技術者育成対策　104,857（96,729）千円
ICT等を活用した森林整備・路網作設ができる高度技術者等の育成を実施します。

＜事業の流れ＞

国 →（定額、1/2）→ 都道府県（３③④⑤の事業の一部）
国 →（定額、1/2）→ 都道府県 →（定額、1/2）→ 市町村（３③④⑤の事業の一部）／民間団体等
国 →（委託、定額）→ 民間団体等（１、２の事業、３①④⑥の事業の一部）

※国有林においては、直轄で実施

＜事業イメージ＞

技術開発方針の企画：産学官のトップランナーからなるプラットフォームを構築。各事業への助言や技術開発の方向性の提言等、PDCAプロセスを支援

戦略的技術開発・実証

○自動化機械、新素材等の開発・実証

生産性向上、労災防止に資する自動化機械の開発

木の成分を使用した新素材の技術開発・実証等

○森林資源情報のオープン化

森林クラウド等に搭載された森林資源情報等のオープン化

開発技術の実装・環境整備

○ICT等先端技術の導入

山元と川下の需給情報をリアルタイムで共有

○低コスト造林技術の展開

ドローンによる苗木運搬

○森林資源情報等のデジタル化

レーザ計測での資源情報把握

○採種穂園の整備

早生樹・エリートツリーの活用等

［お問い合わせ先］
（１、２①③、３⑥の事業）林野庁研究指導課（03-3501-5025）
（２②、３①③の事業）　計画課　（03-6744-2339）
（３④⑤の事業）　整備課　（03-3502-8065）
（３②の事業）　経営企画課（03-3502-1027）